

ひの

議会だより

No. 91

平成23年11月
発行 / 日野町議会



主な内容 9月定例会

補正予算・条例	… p2~3
平成22年度決算	… p4~5
一般質問(5人)	… p6~10
常任委員会活動報告	… p11

● 条 例

■日野町職員の給与に関する条例の一部改正

行政職給料表級別職務分類表を改正し、職務等級等格付け基準の見直しを行うものです。

<討論>

反対討論 松本利秋議員

行政職給料表の改正は、昨年の12月定例会に上程されたものと同じで、一段降格の格付けとなっています。

また、グループ制の事務分担も明確ではなく、これは、職員の職務の意欲を下げるもので、改正はすべきではありません。

賛成討論 小谷博徳議員

他の自治体で導入され、職員の不利益が回避されていること、職員との話し合いも持たれています。

また、将来を見据えた職員数に対応する行政組織を導入していることや、グループ制は、小人数の中で住民サービスを低下させないものと思われるので賛成します。

賛成討論 中原 明議員

職員60人体制の中で、グループ制にすることによって、縦割り行政ではなく、職員誰もが対応できるという大きな目標を持っておられ、改革の第一歩です。

効率よく事務をはかどらせるかという意味からしても、また、お互いが切磋琢磨して向上につながるので賛成します。

起立による採決が行われ、賛成7、反対2で、可決しました。平成24年1月1日の施行です。

■日野町税条例の一部改正

地方税法の一部を改正する法律の改正に伴うものです。不申告、報告等の義務違反に係る過料を3万円から10万円にする改正です。全員賛成で可決しました。

■日野町立社会体育館の設置及び管理に関する条例等の一部改正

スポーツ基本法が制定され、平成23年8月24日に実施されたことに伴い、関係条例の条文を整理するものです。

交付の日から施行し、平成23年8月24日から適用するものです。全員賛成で可決しました。



除雪風景

- 県道除雪応援委託 1052万円
- 根雨小学校校舎耐震補強及び改修設計委託 575万円
- 予備費 2999万円
- 例規システムのペーパーレス化で文書広報費減額 △163万円
- 学校管理費（少人数学級）県費負担となり減額 △499万円

- 台風12号の災害復旧費等（予備費対応） 684万円
- 道路橋りょう災害復旧費 510万円
- リバーサイドひの空調設備修繕 22万円
- 黒坂小学校久住分校体育館屋根塗装修繕 90万円

一般会計補正予算 第3号

生田英明教育委員の8月2日辞任に伴い、後任に中西康夫氏（野田）の任命に同意しました。採決は無記名投票で行われ、有効投票8票（無効投票1票）の内、賛成8票、反対0票でした。（議長は、投票権なし）任期は、残任期間の平成25年7月7日までです。

教育委員会委員の任命

9月定例会 生活関連予算が 中心

一般会計補正予算
2億4,617万円追加
総額 32億3,484万円に

第2号

「歳入」の主なもの

- 地方交付税 1億2835万円
- 国県支出金 2390万円
- 町債（借金） 586万円
- 前年度繰越金 8503万円
- 財政調整基金積立（貯金） 1億7200万円
- 地方税電子申告システム導入 216万円
- 家庭訪問用軽自動車購入 126万円
- 福祉事務所設置に向けた生活保護システム導入 890万円
- 色彩選別機導入（担い手） 302万円
- コミュニティ助成事業 高尾、上本郷自治会備品整備 400万円

「歳出」の主なもの

特別会計補正予算 (単位：千円)

区分	補正額	総額	歳出の主なもの
国民健康保険	12,930	443,954	高額医療費拠出金、返還金
介護保険	11,185	648,868	返還金
後期高齢者医療保険	150	54,124	広域連合納付金
簡易水道	△8,863	114,087	三土地区飲料水供給施設整備の中止
公共下水道事業	1,794	125,946	中央浄化センター修繕
農業集落排水事業	2,020	71,155	中継処理場施設ポンプ修繕

△印は減額です



耐震化が行われる根雨小学校校舎

「決算」

決算審査特別委員会を設置して、9月8日から21日までの内7日間、平成22年度一般会計及び特別会計7会計の決算を審査しました。

賛成多数で認定

一般会計

歳入総額 **35億5,980万6,640円**
 収納率 96.9%
 歳出総額 **32億5,820万2,166円**

特別会計は、全員賛成で 認定しました

特別会計	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	4億4,023万4,401円	4億2,056万0,404円
老人保健	25万2,000円	25万2,000円
介護保険	5億7,269万2,427円	5億5,845万8,005円
後期高齢者医療保険	5,271万3,938円	5,256万4,238円
簡易水道	1億1,197万5,902円	1億1,197万5,902円
公共下水道事業	1億3,507万3,497円	1億3,507万3,497円
農業集落排水事業	6,930万3,580円	6,930万3,580円

一般会計

滞納額増加を危惧
 町民税の現年分の徴収率は、100%で、県下でも日野町だけであり全国的にも稀なケースで大いに評価します。しかし、滞納額は1億1394万3593円で前年度より322万409円増加しています。

住宅新築資金等貸付金の滞納額は、7372万4171円で、前年より減少したものの依然として多額です。災害援護資金貸付金の滞納額は、前年より287万7948円増加しています。その他の滞納額は、下記の表の通りで、3年間の推移を示しています。

特別会計
 7会計いずれも歳入歳出の事務処理については、適正に処理され良好と認められました。

多重債務化
 簡易水道特別会計は、滞納額が前年より10万円増加し66万円になりました。国民健康保険特別会計では、滞納額が140万8955円減少しましたが、依然250万円以上の多額の滞納があります。

滞納者個々の実態把握を
 滞納額1億円以上は多額であり、財政運営に及ぼす影響は大きく、町長以下職員が一丸となって徴収努力するよう指摘しました。

歳出では、執行率92・89%で各事業の執行は概ね良好でした。各事業における経費等支出の節減の努力が見られ不用額として1億3629万834円ありました。

黒字決算で基金(預金)積立
 歳入歳出差し引き実質収支額は、2億8503万474円の黒字決算でした。この内、基金(預金)に2億円の積立は、評価します。

徴収の成果は評価しますが、滞納者は固定化、多重債務化しているので、徴収方法等の検討を指摘しました。



リバーサイドひのでぼかぼか教室 (舟場地区)

主な税金等の年度別滞納額 単位：万円

区分	20年度	21年度	22年度
一般会計	10,826	11,072	11,394
住宅新築資金等貸付金	7,571	7,480	7,372
災害援護資金貸付金	1,549	1,864	2,152
特別会計	2,797	2,828	2,686
国民健康保険	2,656	2,698	2,587
介護保険	38	9	0
簡易水道事業	52	56	66
公共下水道事業	38	54	28

預金は増加 借入金は減少

基金(預金)総額は、10億353万円の前年より2億5969万円の増額となりました。地方債(借入金)は、34億8541万円の前年より約3億6600万円の減額となりました。

地方債の内、24億7957万円は、返済金として交付税にプラスして、国から還付される自治体特有な借入金です。従って、10億584万円が実質の借入れ残金となります。また、事業ごとの借入金残高は、下記の表の通りです。日野町文化センター建設の借入金は、完済しています。

平成22年度 事業別主な地方債(借入金)残高

鳥取県西部地震復旧復興関連	7億7,963万円
町道、林道、農道(広域農道含む)	6億4,007万円
庁舎、保育所、町営住宅等施設整備	4億4,169万円
臨時財政対策債	11億4,171万円
災害復旧債	1,425万円
防火水槽等その他	4億6,804万円
地方債(借入金)合計	34億8,541万円

主な個別指摘事項

町消防団員の補充・確保が課題となっています。町民の生命、財産を守るためにも団員の確保を。

町農林振興公社の理事会、運営委員会、町地域公共交通会議並びに消防委員会等は、会の使命や実態、仕組み、効果の検証を。

ぼかぼか教室は、開催自治会や参加者が減少しています。高齢化が進んでいく現状を認識し、不参加者対策を。

町営バスの生徒通学補助金(定期券)は、自転車通学者等には交付していない。バス通学対象地域全員の生徒に交付できないか。

一般会計討論

反対討論 佐々木 求議員
 同和対策関連諸費に合計1863万円支出しています。

1. 根拠法がなくなった今、黒坂支所を上回る人員配置等、法と正義から容認できません。
 2. 一般財源から800万円の支出など、総額1800万円以上の支出は、森林整備事業・地域活性化交付金を合わせた額を上回るもので、見直す時と考えます。
 3. 財政健全化に向かい、執行部の懸命な努力の中で、この問題は聖域化しています。率直に町民に訴えて、廃止をすべきと考えます。
- 以上の理由で、不認定の討論とします。

財政危機から脱却

平成19年度決算で早期健全化基準の実質公債費比率が25%を超え、31%の日野町は、財政健全化計画を立て再建に、取り組んできました。平成22年度決算において、その比率が24・8%になったので、早期健全化団体から外れ財政健全化計画は、完了しました。



借入金で行った事業

決算審査特別委員会

- 委員 長 小谷 博徳
 副委員 長 安達 幸博
 委員 佐々木 求
 委員 松原 直人
 委員 松本 利秋
 委員 梅林 智子
- (議長、監査委員を除く)

郷土作家の作品保存を

答 検討します



松本 利秋議員

美術品を一堂に集めて、保管・保存することは、本町の大きな課題であると認識しています。

どの方法が一番良いか、関係する団体の皆さんともよく話し合っており、町の取るべき方向を定めたいと思います。



真住公民館長寿を祝う会

は、アメリカで活躍しました。

二人の作品を含め、町が所有する美術品の保管・保存（後世に伝える手立て）をどのように考えておられますか。

町長 本町が所有する美術品、特に絵画（小早川秋聲の日本画3点、木山義喬の洋画など5点を所有）は、保存方法は余りよくはありません。

議員 この度、NHKテレビで小早川秋聲（日本画）＝黒坂出身が放映され、改めて偉

大きさを知り、郷土が生んだ画家を誇りに思いました。

また、根雨出身の木山義喬



小早川秋聲が明治35年頃描いた「山中鹿之助 三日月を拜する之図」（町公民館に展示）

高齢化対策はどのように

議員 本町は、過疎化と少子高齢化が急速に進んでいます。

お年寄りの健康と生きがい対策をどのように進めておられますか。

町長 お年寄りが地域社会と繋がりを持つことが大切で、ほかほか教室や出前公民館を自治会などで開催しています。障がいなどにより参加できない方への取り組みとして、町職員、民生委員、社会福祉

協議会が連携し、高齢者への訪問活動を行っています。

議員 他町では、お年寄りの見守り活動などは、自治会や地域の支え合いによる活動を中心におき、町はそれに携わるボランティアの養成に力を入れておられますが、本町はどうですか。

町長 他町の事例を紹介されましたが、優良事例を参考にしながら、本町にあった取り組みを、住民の要望も取り入れて、マンネリにならないよう進めたいと思います。

議員 指定のゴミ収集日が祝祭日に当たると変更になり、お年寄りは、困ります。

年間を通した曜日制はどうですか。

町長 ゴミの収集は、処理場と連結しており、委託経費のこともあり、現状の収集形態でお願いいたします。

議員 町公民館や黒坂診療所を雨の日に車いすで利用する場合、車の乗降に滞れるので、屋根の設置は出来ませんか。

町長 該当者がほとんどないようです。必要な時期が来れば、検討してみたいと思います。

町が消える 人口増の対策は

答 町民意識が問題だ



小谷 博徳議員

議員 西部地震から今日まで800人の人口減で、45年後には町が消滅します。

町長の対策を聞きます。

町長 日本中が少子高齢化であり、わが町だけをとって人口増の対策と言われても、具体的方策は見当たりません。

結婚適齢期の若者も減少し、晩婚化や独身の傾向もあります。田舎の素晴らしい自然環境が人間にとって大切で、子育てにも魅力ある町としてアピールしています。

議員 町長は、急激な人口減は社会現象と言われました。

ならば声を大にして、先頭に立って県や国に打って出ないと、町が消滅します。

町長 この現象を起こしたのには町民意識にあると思います。本町は、商工業や兼業化による生活意識や都会志向が根底にあり、減少したと理解しています。

若者定住の施策は

国や県に言ってみても、なかなか理解してもらえない問題ではありません。

議員 子どもを産める年齢層を町内に呼び込まないと、人口減の歯止めとはなりません。

町長 若い人のニーズにあった町営住宅を整備して、医療関係者や高齢者福祉施設で働く町外の若い人に提供し、町民になっていただきます。

移住者に空家のあつせん

人口減を見据えた 将来のまちづくりは

や、就農支援を行い、田舎暮らしに魅力を感じる若者の定住化に向けた施策を考えてみます。

議員 町が消滅するという将来推計の中で、町長は10年後20年後、30年後のまちづくりをどのように考えていますか。

町長 政治を含めた不安定な社会情勢や、東日本大震災など日本全体が大きく揺らいでいる中で、将来のまちづくり



若者定住に向けた単身者住宅の建設

は全く予想がつかえません。

一、人口減少を見越して、身の丈にあった行財政規模。

一、町民が安全で安心して暮らせるまちづくり。

一、自然・文化・歴史など地域資源を生かしたまちづくり。

一、町民会議を核とした人材育成。

こうした点を踏まえ、日野町独自のきらりと光る町、子どもと若者が魅力を感じるまちづくりを考えています。



高齢農家を守る町外から移住した農業青年(アイターン)

緊急対策後の雇用は

答 国・県の事業継続を要望



中原 信男議員

事業の計画を立て直していき、また、国や県の事業を最大限活用し、活性化を図り、安全なまちづくり、災害に強いまちづくりに努めるための考えを伺います。

町長 建設業は、なくてはならない業種の一つです。今後は、維持・修繕が主になりませんが、新規の道路改良等、来年度には予算をつけ工でできると思います。また、県に対してもお願いしています。一方、建設業者等においては、農林水産業など、異業種に目を向けた事業の転換も必要だと思います。そのための町の支援は考えます。

議員 農業、林業では、新規就農者の支援と、農林振興公社の活用とあり方をどう考えていますか。

町長 林業に関しては、新規林業就業者の育成事業を活用して、人材育成で活性化を図ったかどうか。

議員 農地、農業で生計を立てることは厳しいが、アイトーン青年など、新規就農者に対する必要な支援は惜しみません。

町長 林業については、森林組合との連携を強化し、林業事業を進めていきます。

議員 今年度までの緊急雇用創出事業に代わる雇用対策について、町長の考えをお聞きます。

町長 耕地面積が少ない本町では、農業で生計を立てることは厳しいが、アイトーン青年など、新規就農者に対する必要な支援は惜しみません。

議員 林業については、新規林業就業者の育成事業を活用して、人材育成で活性化を図ったかどうか。

町長 林業に関しては、新規林業就業者の育成事業を活用して、人材育成で活性化を図ったかどうか。

議員 農地、農業で生計を立てることは厳しいが、アイトーン青年など、新規就農者に対する必要な支援は惜しみません。

町長 林業については、森林組合との連携を強化し、林業事業を進めていきます。

議員 今年度までの緊急雇用創出事業に代わる雇用対策について、町長の考えをお聞きます。

町長 耕地面積が少ない本町では、農業で生計を立てることは厳しいが、アイトーン青年など、新規就農者に対する必要な支援は惜しみません。

議員 農地、農業で生計を立てることは厳しいが、アイトーン青年など、新規就農者に対する必要な支援は惜しみません。

町長 提案を頂きましたが、

新規就農者の雇用対策

議員 農業、林業では、新規就農者の支援と、農林振興公社の活用とあり方をどう考えていますか。

町長 林業に関しては、新規林業就業者の育成事業を活用して、人材育成で活性化を図ったかどうか。

議員 農地、農業で生計を立てることは厳しいが、アイトーン青年など、新規就農者に対する必要な支援は惜しみません。

町長 林業については、森林組合との連携を強化し、林業事業を進めていきます。

議員 今年度までの緊急雇用創出事業に代わる雇用対策について、町長の考えをお聞きます。

町長 耕地面積が少ない本町では、農業で生計を立てることは厳しいが、アイトーン青年など、新規就農者に対する必要な支援は惜しみません。

議員 農地、農業で生計を立てることは厳しいが、アイトーン青年など、新規就農者に対する必要な支援は惜しみません。

町長 提案を頂きましたが、



町道の草刈作業（緊急雇用）

町長 引き続き、国・県に対して、事業の継続を要望します。また、財政推計を見直す中で、可能であれば単独町費を計上し、雇用対策を行うことも検討したいと考えています。

議員 直近の会議はいつでしたか。その前はいつですか。

町長 9月5日に開きました。それ以前はしばらく開いていません。

議員 実態は、住民の声を聞くと言いつつ開いていません。どう改善しますか。

町長 一年に一度は、開催すべきだと思います。

太陽光発電に補助は

答 財政再建が優先



安達 幸博議員

議員 本町は、地域新エネルギービジョンを平成9年に作成しています。

町長 再生可能エネルギーについての考え方を伺います。

議員 再生可能エネルギーについての考え方を伺います。

町長 再生可能エネルギーについての考え方を伺います。

議員 再生可能エネルギーについての考え方を伺います。

町長 再生可能エネルギーについての考え方を伺います。

議員 再生可能エネルギーについての考え方を伺います。

町長 再生可能エネルギーについての考え方を伺います。

議員 再生可能エネルギーについての考え方を伺います。

町長 再生可能エネルギーについての考え方を伺います。



太陽光発電（ソーラーパネル設置住宅）

設置者の負担が少なく効果が上がる物を模索していくことが課題であると思います。本町においては、水力発電が最も適したエネルギーと考えます。

町民の要望はいつまで

議員 久住、近江・畑はバス路線がない地域です。

町長 高年齢世帯の料金減免や金持行きなど特色ある切符を作ったり、バスに広告を募集して、収益増を考えませんか。

議員 町民の要望などを聞くバスの運営協議会を設置しませんか。



町営バスを利用して日野病院へ

介護予防は守れるか

◎これまで通りに実施する



佐々木 求議員

国の支出減が目的

議員 6月改正の介護保険法は、いまだに要綱・単価等、内容が示されていません。年内に第5次の事業計画を作成して、予算化し、4月に実施しなければならぬが、議論を深め、審議を尽くすには今議会しかありません。

改正では24時間対応定期巡回、随時対応型の訪問介護・看護を合わせた複合型サービスの創設。サービス内容、料金設定の全国基準が一部なくなる。地域支援事業を給付費の3割以内に収め、財政安定

化基金の取り崩しを認める等々、問題が山積しています。

従来通り要支援の予防給付を行っていく考えがありますか。周辺町村との調整が必要となってくるのが考えられるかどうか。24時間対応サービスは町内事業者が受けますか。「あやめ」の介護予防での収入は、860万ほどだが、こうした部分が今後減ることになれば経営も大変になりますか。

6月に衆議院で10時間、参議院で8時間の超スピードで決めておきながら、いまだ町村には、具体的な内容を示さ

ない政府に、厳しく抗議すべきだと考えます。

課長 安定した生活を続け、要介護度が重度にならないようにするために、予防給付は必要なサービスであり、引き続き続けたい。従来の予防給付か、総合サービスを選擇していただくものです。費用額は、地域の実情に応じて柔軟に決定し、周辺町村と連携を密にし、3割以内で慎重に対応していきます。

24時間対応については、高齢者実態調査、体制整備、費用など総合的に検証し、必要に応じて対応していきたいと思えます。

町長 町民、利用者、関係者が不利益を被る改正なら、あらゆる機会を通じ、国に強く要望をしていきます。

総務経済常任委員会報告

農地保全と担い手対策

8月23日に、農業委員会との意見交換会を行いました。○農地保全では、遊休農地、

耕作放棄地対策 ○担い手対策、認定農業者、町農林振興公社などの現状



農林公社によるソバ収穫作業

や対策など、農業施策全般にわたり広く話し合いました。こうした中で、遊休農地は地目変更未整備が多く、登記費用のこともあり進捗していないなどの意見が出ました。これら多くの課題を進めるうえで、町農林振興公社に期待するところが大きいと感じます。今後とも協議を続けることにしました。

7月13日、町農林振興公社との意見交換会を受けて、8月3日、町長、理事長に提言書を提出しました。

提言書

日野町議会

町農林振興公社は、設立から13年が経過し、その間本町の農業は担い手の減少が顕著となり、公社の果たす役割はますます大きくなってきました。

現在の実態や、農業振興、農地保全の観点から組織、体制及び規則の見直しが必要であり、検討してください。

教育民生常任委員会報告

福祉事業との連携を



おしどり作業所視察

8月2日、町社会福祉協議会と意見交換会を行いました。本町は、少子・高齢化が進み、ますます福祉行政に対する要求が高まってきており、これにどう対応していくかが課題となっています。

最初に、おしどり作業所を見学。自立をめざして8人程が作業しておられ、特に菜種搾油事業は、今後に期待されます。

次に、宿泊施設となる「かみやま荘」を見学しました。その後、青砥昭雄会長や職員との意見交換で出た意見として、○おしどり作業所は、基本的



地域でがんばる高齢者

徴収事務は正確に

議員 後期高齢者医療保険料の納付に関し、通知に誤解する表現があります。徴収事務を正確にし、間違いをどう正しましたか。

課長 納付書で納付いただく対象者8人の方が年金支給額からの直接納付と理解されていました。公文書で謝罪し、文書内容を訂正し、督促手数を

料も返還しました。町長 一部に混乱を生じたことをお詫びします。

には、能率を求めるものではないが、運営面で利用者が少なく不安定な要素もはらんでおり、難しい面もあります。○社会福祉協議会がどのような仕事をしているかわからないとの意見も。(22年度の主な事業は、ふれあいサロン、ボランティアセンター事業、作業所とグループホーム運営、菜種特産品づくり事業、日常生活支援事業、食事サービスなど、多岐にわたります。) また今年度から、高齢者サポート事業が発足し、関係機関との連携が課題です。

議会運営委員会

特別委員会を 常任委員会へ検討

議会広報は、現在、特別委員会で編集しています。

地方自治法が変わり、常任委員会を、複数兼ねることができるようになったため、議会広報の常任委員会制を検討しようという意見が出ました。

今のままの活動であるなら、特別委員会での意見もありました。

議会改革の一つである、情報公開の方法に、公聴会、議



9月定例会本会議

会報告会、議会ネット中継等ありますが広報について多岐にわたって検討して、結論を出すことにしました。

議会広報調査特別委員会では案を考え、整い次第、全員協議会で話し合うことにしました。

一般質問はいつごろか

一般質問終了後、議員全員で一般質問の検証をすることにしました。

質問の内容、答弁の内容等質問者だけでなく、議員みんなで意見交換をする勉強会です。

あともがき

秋は、自然豊かな中山間地が、最も誇れる時です。

栗もある。あけびも松茸、香茸もあります。

赤、黄色の濃淡をくぐりながら、鵜の池湖畔を眺めるのもいいですね。

食べる、見る、匂う触れるなど五感で「訪れなくては解らない」色づく季節を日野町で感じてほしいものです。

昼夜の温度差で甘みある、おいしい米が豊作のようです。農家の笑顔がうれしい。

起立による採決

本会議において、採決の方法を起立採決にする提案が議長よりありました。

従来討論がない場合、議長より「異議ありませんか」の問いに、議員が「異議なし」の声で採決していました。

この異議なしは、消極的賛成の意味があり、個々の意志をハッキリさせる方が、望ましいことから、すべての議案を起立採決とすることにしました。

人事案件は、無記名投票です。



農業技師でもあった宮沢賢治の句に「雨ニモマケズ」があります。

議員活動をする上で、この句は手本とすることが多くあるように思います。

議会だよりを少しでも早く発行するために、編集委員はパソコンに挑戦しています。

窓からの、心地よい秋風に深呼吸しながら、広報紙発行に向けラストスパートでキーボードをたたいています。

安達 幸博

表紙の写真説明

過疎高齢化が進む本町では、食料品や日用品を、集落に届ける移動販売業者に、車両購入、車両維持補助金による支援を行っています。

中山間地集落見守りを兼ねる移動販売車に、今年4月より新たに日野病院の看護師が、同行して看護の宅配（看護宅配）が加わりました。

お年寄りが、買物のついでに、簡単な健康チェックと健康相談の様子です。



編集／議会広報調査特別委員会
発行責任者／議長 佐々木秀明
〒689-4503
鳥取県日野郡日野町根雨101
Tel 72-0335
Fax 72-1484
Mail:gikai@town.hino.tottori.jp